



- ①カメラレンズ ②マイク ③ステータスランプ ④microSD挿入口 ⑤主電源スイッチ ⑥USB接続口
A 電源ボタン **B** 撮影ボタン **C** モードボタン **D** ※使用しません。

1) ご使用前の確認及び注意事項

- ・本製品をご使用いただく前に必ずmicroSDカード(別売)をセットしてください。(※最大32GB対応)
- ・microSDカードをセットせずに電源を入れると、ランプ③が青色に数秒間点滅し自動的に電源がOFFになります。
- ・本製品をご使用いただく前に必ず充電を行ってから操作を開始してください。
- ・保存処理及び内部処理に時間がかかる場合がありますので、連続したボタン操作は数秒の間隔をあけて行ってください。
- ・本製品は専用ケーブルを使用しており、市販のUSBハブや延長ケーブルを併用してご使用になるとドライブを認識できない事があります。データアクセスの際は、付属のUSBケーブルを使用し、直接パソコンのUSBポートと接続を行ってください。
- ・撮影は被写体から最低でも約50cm以上離して撮影してください。
- ・本製品のコンセントプラグ等はダミーです。電源供給等、アダプターとしての機能はありません。

2) 充電方法

- ・主電源スイッチ⑤がONの状態 で付属のUSB接続ケーブルを使用し、製品本体のUSB接続口⑥とパソコン等を接続し充電します。
- ・接続するとランプ③が緑色に点灯し、充電中であることをお知らせします。
- ※ランプ③が消灯する場合は、満充電に近い状態になります。その場合は、電源操作を行ってご使用ください。【※3) 参照】
- ・バッテリーが空の状態より約3時間を目安に充電を行ってください。

3) 電源操作

- ・主電源スイッチ⑤をONにします。(左:OFF/右:ON) ※リモコン操作は全て主電源がONの状態 で操作します。
- ・電源ON: 電源ボタンAを押すとランプ③が青色に点灯後5回点滅し、録画待機状態(ランプ③青色点灯)になります。
- ・電源OFF: 主電源スイッチ⑤をOFFにします。(左:OFF/右:ON)
- ※待機状態で1分間、何も操作がないと自動的に電源がOFFになります。

4) 外部電源機能

- ・別売のACアダプターまたはポータブル充電器と併せて使用すると、充電しながらの各種撮影機能が使えます。
- ・充電状態で電源ボタンAを押すと自動的に動画撮影が始まります。
- ※モードを切替える場合は撮影ボタンBを押し録画を停止し録画待機状態にしてから行ってください。
- ※USB接続ケーブルでPC等との接続(パスパワー)では使用できません。

5) 繰り返し録画機能

- ・本製品にはループ録画機能がついています。
- ・メモリーが一杯になると古いデータファイルから上書き消去を行い記録を続けます。
- ※記録が上書き消去される為、外部電源等利用し長時間録画される場合はご注意ください。

6) モードの選択方法(動画撮影/写真撮影/ボイスレコーダー)

- ※最初(モードボタンCを押す前)は動画撮影モードになっています。
- ※ボタンはしっかり強く押し、希望のモードがきちんと選択できているかをランプ③の点滅状態でよく確認してください。
- ・待機状態(ランプ③青色点灯)時にモードボタンCを1回押すごとに、ランプ③が青色に点滅し各モードに切り替わります。
- ・動画撮影モード → 写真撮影モード(1回点滅) → 録音モード(3回点滅) → 動画撮影モード(5回点滅)

7) 動画撮影機能

- ・【6) モードの選択方法】で動画撮影モードに切り替えてください。
- ・動画撮影待機状態(ランプ③青色点灯)で撮影ボタンBを押すと、ランプ③が青色にゆっくり5回点滅し録画を開始します。(録画中、ランプ③は消灯します。)
- ・録画中に再度、撮影ボタンBを押すと録画を停止し、動画撮影待機状態(ランプ③青色点灯)に戻ります。
- ※録画されたファイルは一定時間ごとに1ファイルとして保存されます。

8) 写真撮影機能

- ・【6) モードの選択方法】で写真撮影モードに切り替えてください。
- ・写真撮影待機状態(ランプ③青色点灯)で撮影ボタンBを押すと、ランプ③が青色にゆっくり長めに1回点滅し写真を撮影します。
- ・ファイル保存後、写真撮影待機状態(ランプ③青色点灯)に戻ります。

9) ボイスレコーダー機能

- ・【6) モードの選択方法】で録音モードに切り替えてください。
- ・録音待機状態(ランプ③青色点灯)で撮影ボタンBを押すと、ランプ③が青色にゆっくり2回点滅後消灯し録音を開始します。
- ・録音中に再度、撮影ボタンBを押すと録音を停止し、録音待機状態(ランプ③青色点灯)に戻ります。

10) 動物検知機能

- ・待機状態(ランプ③青色点灯)で電源ボタンAを押すと、ランプ③が青色に4回点滅後消灯し動物検知待機状態になります。
- ・この状態で動きを検知すると一定時間の録画を開始します。(動物検知中はランプ③は消灯します。)
- ・動物検知中は動物が検知される度に一定時間の録画を繰り返します。
- ・動物検知機能の停止は、撮影ボタンBを押すと待機状態(ランプ③青色点灯)に戻り動物検知機能は停止します。
- ※録画されたファイルは一定時間ごとに1ファイルとして保存されます。

11) パソコン接続時のリムーバブルディスクとしての認識について

- ・主電源スイッチ⑤がONの状態 で付属のUSB接続ケーブルで製品本体のUSB接続口⑥とパソコン等を接続します。
- ・接続後、電源ボタンAを押すとランプ③が1回点滅後、青色に点灯します。(ドライブが認識されるまで10~15秒かかります)
- ・パソコンのマイコンピューターに新しくリムーバブルディスクとして認識され、以後メモリ内にアクセスできます。
- ※なお、本操作にドライバーのインストールの必要はありません。(対応OSは自動的にインストールされます)
- ・USB接続ケーブルを取り外す際は、OS指定の【ハードウェアの安全な取り外し方法】に従い正しく切断してください。
- ・USB接続ケーブルを取り外した後は、必ず主電源スイッチ⑤をOFFに切り替えてからご使用ください。
- ※ドライバーの不具合等で認識できない場合は、他のUSB接続ポートでお試し頂く必要がございます。

【ご注意】

データを再生する場合、データをパソコンの任意の場所に移してから再生してください。パソコンのスペック等によっては、正しく再生ができない場合もございます。

【生成された".MOV"ファイルが再生できない場合】

- ・以下無料Playerで再生する事により、一般的に再生が可能となります。
- ・GOM Player (無料:推奨) …… <http://www.gomplayer.jp/>

12) タイムスタンプ(画像への日付・時間の設定) / フレームサイズの設定

■タイムスタンプ(画像への時刻セット)設定ファイルの作成方法

- 例) 2013年5月25日12時30分30秒に設定する場合
- ・下記のようにメモ帳でテキストをパソコンで作成し、ファイル名を「timeset.txt」として任意の場所へ保存します。
- 2013.05.25 12:30:30 Y (すべて半角入力) ※タイムスタンプを消す場合は「Y」⇒「N」と入力

■フレームサイズ変更(動画解像度の変更)設定ファイルの作成方法

- ・下記のようにメモ帳でテキストをパソコンで作成し、ファイル名を「siseset.txt」として任意の場所へ保存します。
- 0 (1440*1080 pxl) 1 (1280*720 pxl) 2 (320*240 pxl)
- 例) 解像度1280*720 pxlに変更したい場合「siseset.txt」に1を記入します。(すべて半角入力)
- ・本体とPCを接続し認識されたドライブに作成した「timeset.txt」または「siseset.txt」を移動します。
- ・同時に可(認識されたリムーバブルディスクの最初のフォルダー(ドライブの最上位)に移動します)
- ・本体をパソコンからいったん取り外し、再度電源をONにすると設定完了です。
- ※正常に設定が終了すると、セットしたテキストファイルは自動的に消去されます。
- ※主電源スイッチ⑤をOFFにするとタイムスタンプが初期値に戻ってしまいます。その場合は、再度タイムスタンプを入れ直してください。

- 正常に日時の設定が出来ない場合、下記ページより「timeset.txt」をダウンロードしてください。

製品ドライバーダウンロードページ …… <https://www.onsquare.jp/support/>

13) リセット方法

- ・本製品のリセットは主電源をON/OFFにする動作で自動的に内部リセット処理が行われます。

Ver.11

《注意事項》

- ご使用中本体が発熱し多少熱くなる事がありますが、異常ではありません。
- バッテリー稼働時間はあくまでも目安であり稼働を保証するものではありません。
- 製品ケースや本体のデザインは予告なく変更される事があります。
- プライバシーの侵害・迷惑防止条例等に抵触する行為には使用しないでください。
- 輸入品につき、製品箱等にキズ/汚れがある場合がございます。

注意 警告



本製品は高精細画質の録画及び保存を行う為、バッテリーにはリチウム蓄電池を採用しております。リチウム蓄電池は、ニッケルベースのバッテリーよりも出力密度が高いのが特長です。そのため、より軽量ながら駆動時間も長いのですが、**高温・加熱のある場所では発火の可能性もありますので、ご使用や保管方法には十分ご注意ください。**またバッテリーを長持ちさせるため必要以上の過充電や過放電(完全に放電した状態)の状態では保存しないようご注意ください。(電池の寿命が極端に短くなります)ご使用にならない際は、充電が半分程度の容量がある状態で保存される事を推奨いたします。

